



将来見据え組織作りのため規約改正

会長再任 副会長に原 順和氏 第33回城陽市文化芸術協会総会

城陽市文化芸術協会は5月12日、文化パルク城陽ふれあいホールで令和6年度総会を開催、新年度の事業計画案、新年度予算案が承認され、新年度がスタートしました。

新年度事業計画では、市民が育む文化の紹介の場を提供する市民文化祭、協会会員の活動成果を披露する春いちばん文化まつりの2大事業に加え、毎年開いている「趣味の体験講座」は枠を倍の20講座に広げる計画をしま

した。講座枠を広げたのは、会員拡大と新たな活動部門が構築されればとの思いを込めたものです。コロナ禍で企画出来なかつた日帰り旅行の親交会も復活させ前向きに取り組みましたが、参加人数が少なく中止になりました。

ひとつきコンサートは年間3回の開催に戻し、会員の発表の場を充実させました。

予算的には、会員数の減によって会費収入が減る一方で、文化パルク城陽の舞台人件費をはじめと

する様々なものが高騰し、今後、舞台費用への負担なども見直さなければならぬ状態となっております。

会員の高齢化に伴い将来に向けての当協会存続のために、規約を改正し、組織の改編を行い、理事会開催回数

は減らしました。そして総務、事業、広報の3部会、並びに文化祭実行委員会を活性化し、役員の皆様のスキルをあげて組織の充実を図っていく方針を打ち出しました。

動ける、思考する役員体制の構築にぜひご協力下さい。

会長には津守俊一氏が再任、副会長には宇野信子氏が再任、原順和氏が新任されました。また新たに土谷純一氏が常任理事となりました。

今回の規約改正、部会等の中心の運営にあって協会に新しい風を取り込み、活気ある協会の構築が出来ればと考えられています。

他の組織と同じく当協会も将来の存続に向けて大きな転機を迎えています。様々な課題がある中で前向きに取り組んでまいります。

Table with 2 columns: Date and Activity Name. Includes '令和6年度趣味の体験講座' and 'いけ花教室'.

令和6年度は前年度に5講座を終えています。この講座は各連盟、会員個人の方が、こんなことを教えられますと気軽に申し込んでいただければと思います。

気軽に協会の後援申請を 各連盟、サークルの会員の皆さんが独自のイベントを企画した際には気軽に協会に対して後援申請をして下さい。

会長には津守俊一氏が再任、副会長には宇野信子氏が再任、原順和氏が新任されました。

Table with 2 columns: Date and Activity Name. Titled '令和6年度協会事業'.

Table with 2 columns: Date and Activity Name. Titled '令和6・7年度常任理事、理事及び監事'.

Table with 2 columns: Position and Name. Lists board members and supervisors.